

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8277
担当部課名	議会事務局	庶務	課	
事務事業名	国際交流事業市議会友好訪中団訪問経費		事業コード	18120

1 総合計画における位置づけ

政策名	第8章	国際平和と人権が尊重される社会を実現します	事業開始年度
基本施策名	第1節	世界とともに生きる地域社会の実現	~63年度
施策名	第2施策	国際交流・国際協力の推進	

2 実施根拠及び関連法令等

--

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
国際交流の一環として、本市の友好都市である中国無錫市を中心に訪問し、相互理解及び友好交流を深める。		市議会議員	
		対象数	46人
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
友好都市無錫市等を訪問し、各市の人民政府並びに人民代表大会関係者等との交流を図った。 訪問市 無錫市、西安市、北京市 時期 平成13年10月(8日間) 訪問者数 市議会議員 6人 随員職員 1名 (事業費) 旅費 2146千円 需用費 134千円		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
計画年次	年度~年度		

4 評価指標

指標名			
指標式			
指標設定の意図			

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標			a	b	
指標			c	d	
指標			e	f	
事業費	決算(予算)額	2,115	2,280	2,332	
	人員・時間数	60h	60h	60h	
	人件費	251	251	251	
	その他経費	0	0	0	
	合計	2,366	2,531	2,583	0
特定財源	0		0	0	

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか		
評価 A ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 =
	B : 一部達成していない(100%> 80%)	
	C : 達成していない (80%>)	
$\frac{a}{b} \times 100 =$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$
理由 :	相模原市議会が友好都市無錫市を訪問し、交流を行い、両市の友好関係を一層深めたことで、訪問の目的は達成できたと考える。	

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か		
評価 A ▼	A : 適応している	理由 : 市民主体の国際化や国際理解を推進する上で、市民の代表である市議会議員が無錫市を訪問し、相互理解及び交流を深めることは、時代に適応している。
	B : 一部適応していない	
	C : 適応していない	

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か		
評価 A ▼	A : 妥当である	理由 : 事業の性格上、費用対効果が見えにくいが無錫市の人民政府並びに人民代表大会関係者と交流を図ることにより、経済や技術交流等もスムーズに行えることが予想されるため、費用対効果は高いと考えられる。
	B : 一部妥当でない	
	C : 妥当でない	

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か		
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 : 相模原市が友好都市を結んでいる市との交流であり、市民の代表である市議会議員が訪問することに意義がある事業であるため、代替等は考えられない。
	B : 代替の可能性低い	
	C : 代替の可能性高い	

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか		
評価 B ▼	A : 満足できる	理由 : 無錫市との交流を深めることは、教育・文化・スポーツ等幅広い分野で進めている市民主体の交流にも寄与していくもので、十分市民の理解を得られると考えるが、近年の財政状況の面から市民が満足していない可能性がある。
	B : 一部満足できない	
	C : 満足できない	

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か		
評価 A ▼	A : 有効である	理由 : 無錫市との交流は、世界に開かれた地域社会づくりをめざし、国際交流、協力を進めている本市にとって有効な事業である。
	B : 一部有効である	
	C : 有効でない	

<p>評価バランスチャート</p>	成果向上の余地	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> <p>無錫市訪問時に得た有益な情報を提供する有効な手段があれば、さらに成果が向上すると考えられる。</p>
	コスト改善余地	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> <p>経費中、旅費の占める割合が高いため、行程等の見直しが可能ならば、コストの改善余地はあると考える。また、委託している印刷物を自主作成に切り替えることで若干のコスト改善は図れる。</p>

7 総合評価

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較	県内では、中国の市と交流を行っている市は多く、横浜市が上海市と交流しているのをはじめ、川崎市が瀋陽市と、厚木市が揚州市と交流するなど相模原市を含め、6市が交流をしている。
	今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	説明	当事業は相模原市・無錫市両市の市議会と人民代表大会が交流を深めることにより、両市が行っている他の交流事業にも大きく寄与しているものであり、継続することが適当と考える。見直しについては、毎年実施していたものを、検討し、平成9年度から隔年実施に切り替えるなど必要に応じ行っている。
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--